

「休日の部活動の段階的な地域移行」 成果報告書

【実践研究のテーマ】 ・教職員の負担軽減を含めた段階的な地域移行の在り方	宇美町教育委員会（福岡県） 電話番号 092-934-2245 メールアドレス gakkou@town.umi.lg.jp
------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○ 宇美町の概要

【宇美町の概要】 ・人口 約 37000 人 ・町立中学校全 3 校 ・宇美中学校 ・宇美東中学校 ・宇美南中学校	【宇美町立中学校の概要】 ・宇美中学校 生徒数 537 名 ・宇美東中学校 生徒数 330 名 ・宇美南中学校 生徒数 239 名 全生徒数 合計 1106 名
---------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

○ 実践研究の目的

宇美町は担当の部活動の競技経験がない教職員が全体の約 6 割を占めており、指導力の不足から業務の負担となっている現状がある。そのため、教師の負担軽減に向けた部活動の在り方を模索する必要がある。

○ 達成目標及びその検証

【達成目標】

- ・教職員の休日の部活動に対する負担感の軽減
- ・地域移行に係る費用の積算

【目標の検証】

- ・部活動顧問の勤務実態の調査（アンケート）
- ・実践から地域移行に係る費用の算出

○ 実践研究の内容

- ・拠点校は 3 中学校
各学校より 1 部活動（1 名）ずつ推薦
（推薦理由の記入必須。顧問に競技経験がなく土日にてできている等。）
そのほか、2 中学校の外部指導員をしている 1 名を合わせた、計 4 部活動（4 名）
- ・期間
令和 3 年 8 月～令和 4 年 2 月の 7 か月間
- ・費用負担の在り方
1 年間実施すれば、どの程度の費用が必要か明らかにする。
- ・学校部活動と地域部活動の連携の在り方
それぞれの活動に目的や方法を明確にし、連携できる部分を明らかにする。
- ・教員の負担軽減に向けた組織づくりの在り方
地域部活動が導入されたことで、教職員の勤務時間の変化や部活動に対する意識調査を行い、効果や課題を明らかにする。

○ 実践研究の実際及び結果と考察

☆地域移行に係る費用の積算について

【研究に対する費用等（集計期間 R3.8～R3.12 の5か月間）】

（宇美中学校 男子ソフトテニス部）

・実施回数	12回	・合計金額	117,620円
・報酬費	57,600円	・交通費（旅費）	5,260円
・消耗品費	54,760円		

（宇美東中学校 サッカー部）

・実施回数	6回	・合計金額	110,904円
・報酬費	30,400円	・交通費（旅費）	1,920円
・消耗品費	78,584円		

（宇美南中学校 女子バスケットボール部）

・実施回数	37回	・合計金額	233,360円
・報酬費	184,000円	・交通費（旅費）	49,360円

（宇美中学校・宇美南中学校 剣道部）

・実施回数	5回	・合計金額	25,600円
・報酬費	25,600円	・交通費（旅費）	0円

集計期間、5か月間の全体の合計

- ・実施回数 60回
- ・合計金額 487,484円

※内訳（報酬費 297,600円、交通費 56,540円、消耗品費 133,344円）

【1人当たりの活動に係る積算】

$487,484円 \times 12 / 5（1年間） \div 62（総部員数） = 18,870円$

→活動に係る費用は、1人18,870円

仮に、運営団体に対する年会費を6,000円、保険料を1,000円とすれば、1年間1人当たり25,870円と積算できる。

【考察】

実施期間中はコロナに伴う部活動停止期間があったことや外部指導者の自粛などにより活動回数が減っている現状があるため、実際の報酬費はもう少し必要であると考えられる。また、交通費については、本年度、県の規定である公共交通機関利用相当額としていたが、来年度は町の規定である1kmあたり37円として計算する予定であるため、本年度より少なくなると考えられる。

★教職員の休日の部活動に対する負担感の軽減について

【部活動顧問へのアンケート結果】

・アンケート総数5（剣道部は2校で実施）

アンケートの内容・集計結果

① 部活動が業務の負担となっているか。

なっている 100%

② 外部指導員が来ることで業務の負担軽減となっているか。

なっている 60% なっていない 20% わからない 20%

③ 外部指導員の指導に満足しているか。

大変満足 40% おおむね満足 60%

④ 外部指導員の指導を来年度も継続して行いたいか。

行いたい 100%

※②の問いに対し、「なっていない。わからない。」と答えた理由

- ・地域運動部活動と学校部活動の違い（保険、責任の所在等）を保護者や生徒への説明や理解が難しく、より負担が増えたように感じた。

【考察】

今後は、負担軽減となっているが100%となるよう活動していく必要がある。負担となっているのは生徒・保護者への説明・理解に関わることであるため、国の方向性をもとにしたチラシなどを使用し、全体的な説明会を実施する必要がある。

○ 成果と課題

【成果】

- ・地域部活動を実施することで、教職員の負担軽減につながっていると同時に、教職員が肯定的な感情を持っていることが分かった。
- ・地域移行に係るおおよその負担額が1人当たり1年間25,870円であることが明らかになった。

【課題】

- ・運営団体と人材の確保が一番の課題である。まだまだ、部活動の地域移行が関係団体等へ周知が弱いため、今後啓発のための手立てが必要である。また、生徒・保護者への丁寧な説明が必要である。
- ・経済的な理由によって参加することができないということがないように、受益者負担の在り方を含めた予算措置をどうしていくのかが大きな課題となる。

○ 今後について

今後は、指導者が所属する運営団体に業務委託を行うことを目指すこととしている。そのためには、運営団体と指導者の確保を第一に考える必要がある。今までは、スポーツ所管課である社会教育課や、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ふみの里スポーツクラブと個別で協議を行っていたが、今後は合同での協議等を定期的に行い、活動の共有化を図っていく。

